

高知県感染症発生動向調査（週報）

2026年 第28週 （7月6日～7月12日）

★県内での感染症発生状況

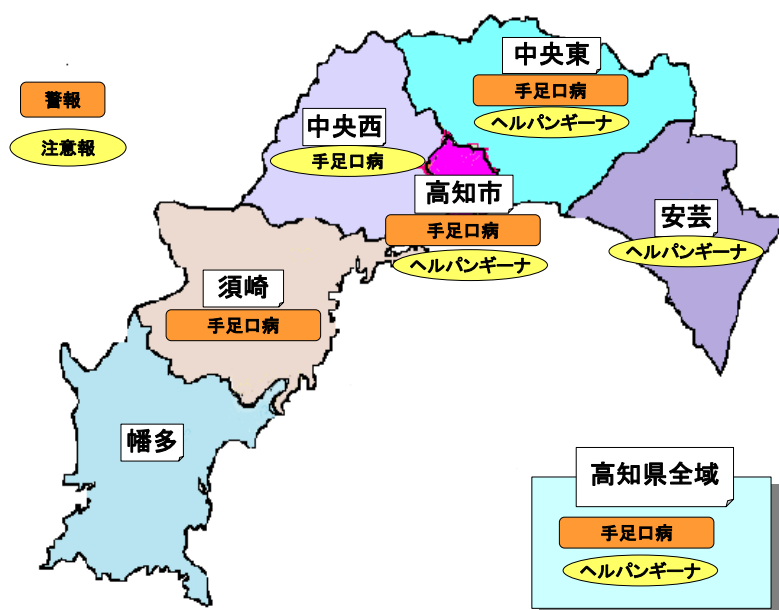
急性呼吸器感染症及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり 報告数	保健所別の傾向
手足口病	→	7.79	中央東、中央西、幡多で急増していますが、須崎、安芸で減少しています。
ヘルパンギーナ	→	3.05	中央西で急増、中央東、須崎で増加していますが、安芸、幡多で急減しています。
感染性胃腸炎	→	2.00	安芸、幡多で急増していますが、中央東、須崎で急減しています。
新型コロナウイルス感染症	↗	1.86	須崎、安芸、中央西で急増、高知市、幡多で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	→	0.95	中央東で急増していますが、幡多で減少しています。

<推移の基準>

急増	↑	前週と比較し、2倍以上の場合	減少	↘	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
増加	↗	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合	急減	↓	前週と比較し、0.5倍未満の場合
横ばい	→	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合			

★地域別感染症発生状況



★週報の発行日

週報は、毎週「木曜日」の午後3時30分以降に発行します。

ただし、「火曜日」「水曜日」「木曜日」が祝日の場合は、「金曜日」になります。

★県内で注目すべき感染症

夏型感染症(手足口病・ヘルパンギーナ)

夏型感染症は、例年、6月頃から5歳以下の乳幼児を中心に報告数が増えはじめ、7～8月頃にピークとなります。

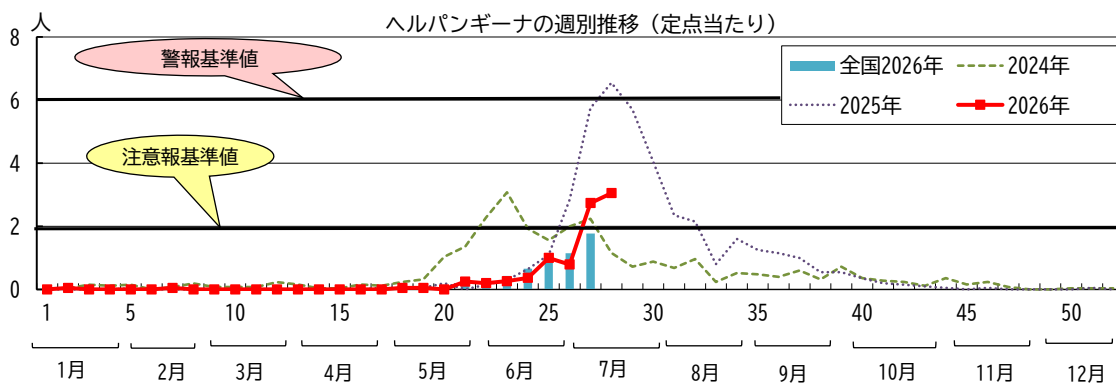
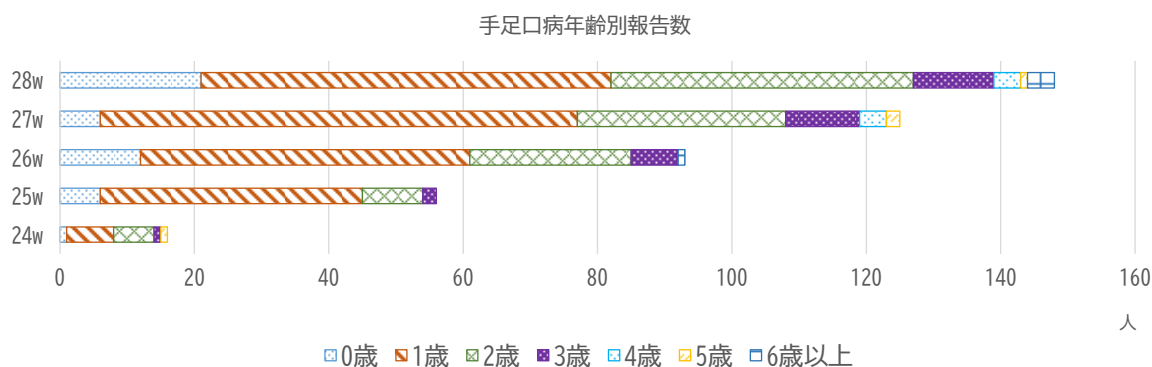
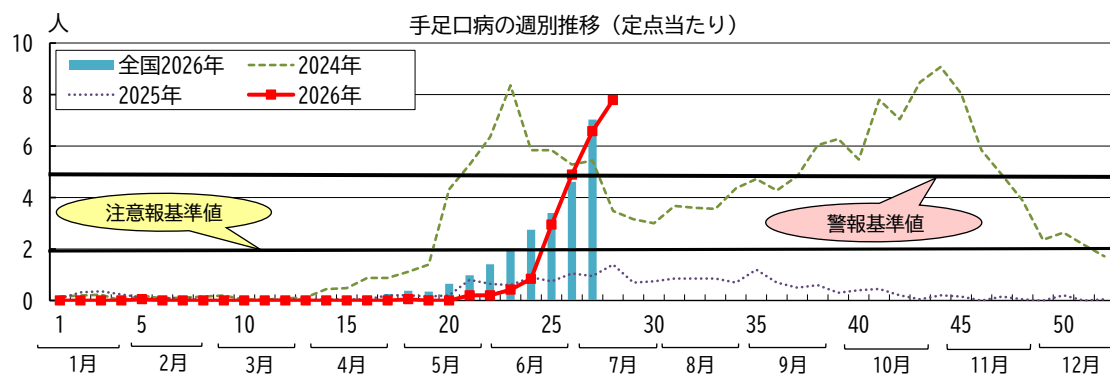
手足口病は、通常は3～5日の潜伏期をおいて、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができます。ほとんどは数日間のうちに治りますが、ごくまれに髄膜炎や脳炎など重症化することがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。

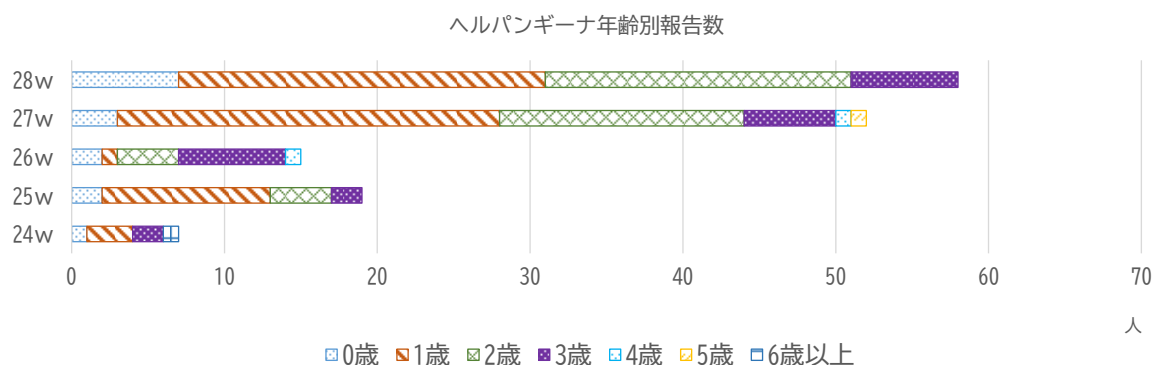
ヘルパンギーナは、経口・接触感染、咳やくしゃみによる飛沫で感染します。2～4日の潜伏期の後、突然の高熱、咽頭痛や咽頭発赤が現れます。口腔内の痛みがあり食事がとり難いため、柔らかく、薄味の食事を工夫し、水分補給を心掛けましょう。

手足口病やヘルパンギーナの原因ウイルスであるエンテロウイルスは、回復後も便中から検出されることがあります。そのため、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。

国内の手足口病由来ウイルスの直近5週間（2026年第23週～第27週）の検出状況は、Coxsackievirus A6の検出割合が最も多く50.9%となっています。

また、高知県でも5月以降に搬入された手足口病由来の26検体のうち15検体(57.7%)からCoxsackievirus A6が検出されています。





●予防方法

＊手洗いが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。

＊タオル・コップ等は共用を避け、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。

＊回復後にも2～4週間にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

●学校感染症

手足口病・ヘルパンギーナ：学校保健安全法（同法施行規則第19条）では欠席者が多くなり、授業などに支障をきたしそうな場合など、「学校長が学校医と相談をして第3種学校感染症としての扱いをすることがあり得る病気」となっています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
28	手足口病	39℃, 嘔吐, 発疹	1	男	須崎	Cytomegalovirus
28	手足口病	39℃, 発疹	1	女	須崎	Human herpes virus 6
28	手足口病	40℃	2	女	高知市	Cytomegalovirus
28	リンパ節腫脹	40℃	14	男	中央東	Norovirus GII NT

前週以前の受付

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
27	手足口病	39℃, 発疹, 口内炎	3	男	須崎	Coxsackievirus A6
27	手足口病	39℃, 発疹	2	男	須崎	Coxsackievirus A6
27	手足口病	39℃, 発疹, 熱性けいれん	1	男	須崎	Coxsackievirus A6
27	手足口病, 水痘	水疱, 発疹, 歩容の異常	1	女	中央東	Rhinovirus
27	—	39℃, 下痢, 発疹, 肝機能	1か月	男	幡多	Rhinovirus

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
5 類	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	7	60 歳代 女性	中央東
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	11	60 歳代 男性	
	梅 毒	1	17	20 歳代 女性	高知市
	百日咳	1	31	5～9 歳 男性	

★カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）感染症 耐性遺伝子検出情報

検出情報無し

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	早明浦病院小児科	COVID-19 1 例（10 歳男）
	JA 高知病院小児科	RS ウイルス感染症 1 例 手足口病 13 例 突発性発疹症 3 例 ヘルパンギーナ 17 例 COVID-19 2 例 溶連菌性咽頭炎 1 例
高知市	けら小児科・アレルギー科	hMPV 感染症 3 例 RS ウイルス感染症 5 例 COVID-19 22 例 ノロウイルス感染症 1 例 手足口病 32 例
	福井小児科・内科・循環器科	手足口病 23 例 ヘルパンギーナ 6 例 COVID-19 6 例 溶連菌感染症 6 例 溶連菌感染症・COVID-19 同時感染 1 例（12 歳男）
	細木病院小児科	hMPV 感染症 9 例 （11 ヶ月女、1 才男、3 才男女、5 才男、8 才女、9 才男 2 人、13 才男） RS ウイルス感染症 1 例 咽頭結膜熱 1 例 溶連菌感染症 5 例 感染性腸炎 4 例 手足口病 12 例 ヘルパンギーナ 4 例 COVID-19 8 例
中央西	日高クリニック	hMPV 気管支炎 4 例（2 歳男、3 歳女、4 歳男、5 歳女）
須 崎	もりはた小児科	手足口病 11 例 ヘルパンギーナ 3 例 hMPV 3 例 第 27 週 カンピロバクター腸炎 1 例（7 歳） サルモネラ 07 腸炎 1 例（4 歳）
幡 多	幡多けんみん病院小児科	hMPV 5 例（6 か月女、1 歳男 2 人、3 歳女、6 歳女）

手足口病は四肢および口腔粘膜等に水疱性発疹を、ヘルパンギーナは口腔粘膜に水疱性発疹をみとめるエンテロウイルス感染症で、毎年夏季に小児で流行が見られる疾患である。両疾患は一般的に予後良好であるが、まれに重症化し、中枢神経合併症、神経原性肺水腫、心肺機能不全を合併することがある。感染経路は主に飛沫感染、経口（糞口）感染、接触感染である。

わが国では、いずれも感染症法に基づく5類感染症の小児科定点把握疾患に分類されており、2025年4月7日以降、全国約2,000カ所（2025年4月6日までは全国約3,000カ所）の定点から、臨床診断による患者数が毎週報告されている。

流行年における手足口病の発生動向は、過去10年において、新型コロナウイルス感染症の流行年を除き、全国の動向としては第20週ごろに増加が確認され、第30週ごろに定点当たり報告数10.00程度のピークに達した後、第40週ごろには1.00程度に低下し、第48～50週ごろにはほぼ終息していた。2024年は第28週（定点当たり報告数13.34、報告数41,885例）と第41週（定点当たり報告数10.78、報告数33,760例）がピークとなる二峰性を呈したことが特徴的であったが、2025年は例年に比べ低調であり、定点当たり報告数の最大は、第31週の0.63（報告数1,474例）であった。なお、両年は報告定点数が異なるため、週の報告数の比較には注意が必要である。

2026年の報告は、例年と同様に第20週から定点当たり報告数0.65（1,477例）と増加しはじめ、第26週時点で4.61（10,396例）と増加傾向である。

ヘルパンギーナの発生動向は、過去10年において、新型コロナウイルス感染症の流行年を除き、第20週ごろより増加が確認され、第30週ごろに定点当たり報告数3.00～4.00程度のピークに達した後、比較的速やかに減少し、第48～50週ごろには終息していた。

2026年のヘルパンギーナの報告は、例年と同様に、第20週より定点当たり報告数が0.15（331例）と増加しはじめ、第26週には1.15（2,592例）であった。過去10年において最も高いピーク値は2023年第27週の定点当たり報告数7.32（22,980例）であり、2026年の現在の状況は例年と同程度、あるいは少ない流行規模である。

手足口病の患者から検出されるウイルスは年によって異なる。直近5年間に手足口病患者から分離・検出された各年の主なウイルスは、多い順に、2022年はCA6とCA16、2023年はEV71とCA6であった。また、二峰性を呈した2024年は最初のピークでCA6、次のピークでCA16が多く分離・検出された。2025年はE18、EV71、2026年は7月1日現在でCA6、EV71であった。ヘルパンギーナから分離・検出された主なウイルスは、2022年にCA6、2023年にCA2、CA4、CA10、2024年にCA6、2025年にCA4、2026年にCA6であった。

新型コロナウイルス感染症の流行後、様々な感染症で不規則な流行が確認されている。2026年における手足口病の発生動向は、おおむね例年と同様で、大きな流行は確認されていないが、本年も引き続き、従来の流行時期である夏季以降もその発生動向に注視する必要がある。また、ヘルパンギーナも例年と同程度であるが、今後の発生動向の把握が重要である。

国立健康危機管理研究機構 IDWR2026 年 26 号より

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階

TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696

※この情報に記載のデータは2026年7月14日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合は、週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報（48定点医療機関）

								第28週 令和8年7月6日（月）～令和8年7月12日（日）			高知県衛生環境研究所		
定点名 （定点数）	保健所 疾病名等	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前 週	全国（27週）	高知県（28週末累計） R7/12/29～R8/7/12	全国（27週末累計） R7/12/29～R8/7/5	
急性呼吸器 感染症 (37)	急性呼吸器感染症(ARI)*	48	196	815	129	68	78	1,334（ 36.05 ）	1,332（ 36.00 ）	189,593（ 50.88 ）	38,888（ 1051.03 ）	5,719,216（ 1527.16 ）	
	インフルエンザ			1			4	5（ 0.14 ）	9（ 0.24 ）	446（ 0.12 ）	7,712（ 208.43 ）	1,022,989（ 272.87 ）	
	新型コロナウイルス感 染	1	12	47	1	4	4	69（ 1.86 ）	48（ 1.30 ）	5,482（ 1.47 ）	1,130（ 30.54 ）	114,230（ 30.47 ）	
小児科 (19)	咽 頭 結 膜 熱		1	3			1	5（ 0.26 ）	7（ 0.37 ）	1,019（ 0.45 ）	105（ 5.53 ）	20,706（ 9.13 ）	
	A群溶血性レンサ球菌咽 頭		3	13			2	18（ 0.95 ）	17（ 0.89 ）	4,640（ 2.06 ）	772（ 40.63 ）	156,250（ 68.89 ）	
	感 染 性 胃 腸 炎	8	1	27			2	38（ 2.00 ）	46（ 2.42 ）	10,023（ 4.45 ）	1,454（ 76.53 ）	353,394（ 155.82 ）	
	水 痘		1					1（ 0.05 ）	2（ 0.11 ）	719（ 0.32 ）	62（ 3.26 ）	22,011（ 9.71 ）	
	手 足 口 病	1	28	97	7	12	3	148（ 7.79 ）	125（ 6.58 ）	15,845（ 7.03 ）	456（ 24.00 ）	56,215（ 24.79 ）	
	伝 染 性 紅 斑							（ ）	1（ 0.05 ）	131（ 0.06 ）	146（ 7.68 ）	7,390（ 3.26 ）	
	突 発 性 発 疹		3	4				7（ 0.37 ）	3（ 0.16 ）	735（ 0.33 ）	105（ 5.53 ）	16,128（ 7.11 ）	
	ヘルパンギーナ	2	23	29	1	3		58（ 3.05 ）	52（ 2.74 ）	3,998（ 1.77 ）	169（ 8.89 ）	13,577（ 5.99 ）	
	流行性耳下腺炎							（ ）	（ ）	107（ 0.05 ）	7（ 0.37 ）	2,000（ 0.88 ）	
	RSウイルス感染症		1	7				8（ 0.42 ）	12（ 0.63 ）	826（ 0.37 ）	333（ 17.53 ）	29,831（ 13.15 ）	
								（ ）	（ ）	12（ 0.02 ）	（ ）	178（ 0.26 ）	
眼科 (3)	急性出血性結膜炎							（ ）	（ ）	331（ 0.48 ）	4（ 1.33 ）	7,630（ 11.12 ）	
	流行性角結膜炎							（ ）	（ ）	6（ 0.01 ）	6（ 0.75 ）	240（ 0.50 ）	
基幹 (8)	無菌性髄膜炎							（ ）	（ ）	23（ 0.05 ）	3（ 0.38 ）	430（ 0.90 ）	
	マイコプラズマ肺炎		1				1	2（ 0.25 ）	5（ 0.63 ）	126（ 0.26 ）	60（ 7.50 ）	3,336（ 6.95 ）	
	クラミジア肺炎 （オウム病は除く）							（ ）	（ ）	7（ 0.01 ）	（ ）	143（ 0.30 ）	
	感染性胃腸炎 （ロタウイルスに限る）							（ ）	（ ）	19（ 0.04 ）	13（ 1.63 ）	686（ 1.43 ）	
	計 （ARIを除く）	12 （ 11.33 ）	74 （ 17.96 ）	229 （ 26.43 ）	9 （ 4.25 ）	19 （ 8.50 ）	17 （ 6.34 ）	360 （ 17.27 ）		44,495	12,537 （ 428.92 ）	1,827,364	
	前 週 （ARIを除く）	8 （ 8.00 ）	57 （ 12.96 ）	213 （ 25.15 ）	3 （ 1.50 ）	24 （ 11.75 ）	22 （ 9.33 ）		327 （ 16.12 ）				

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咽痛、咽頭腫、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例
*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

注（ ）は定点当たり人数

高知県感染症情報（48定点医療機関） 定点当たり人数

定点当たり		第28週										
定点名 (定点数)	保健所 疾病名等	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前 週	全国（27週）	高知県（28週末累計） R7/12/29～R8/7/12	全国（27週末累計） R7/12/29～R8/7/5
急性呼吸器 感染症 (37)	急性呼吸器感染症(ARI)*	16.00	28.00	62.69	32.25	17.00	13.00	36.05	36.00	50.88	1051.03	1527.16
	インフルエンザ			0.08			0.67	0.14	0.24	0.12	208.43	272.87
	新型コロナウイルス感 染 症	0.33	1.71	3.62	0.25	1.00	0.67	1.86	1.30	1.47	30.54	30.47
小児科 (19)	咽 頭 結 膜 熱		0.25	0.38			0.50	0.26	0.37	0.45	5.53	9.13
	A群溶血性レンサ球菌 咽 頭 炎		0.75	1.63			1.00	0.95	0.89	2.06	40.63	68.89
	感 染 性 胃 腸 炎	8.00	0.25	3.38			1.00	2.00	2.42	4.45	76.53	155.82
	水 痘		0.25					0.05	0.11	0.32	3.26	9.71
	手 足 口 病	1.00	7.00	12.13	3.50	6.00	1.50	7.79	6.58	7.03	24.00	24.79
	伝 染 性 紅 斑								0.05	0.06	7.68	3.26
	突 発 性 発 疹		0.75	0.50				0.37	0.16	0.33	5.53	7.11
	ヘルパンギーナ	2.00	5.75	3.63	0.50	1.50		3.05	2.74	1.77	8.89	5.99
	流 行 性 耳 下 腺 炎									0.05	0.37	0.88
	RSウイルス感染症		0.25	0.88				0.42	0.63	0.37	17.53	13.15
	眼科 (3)	急性出血性結膜炎									0.02	
流行性角結膜炎										0.48	1.33	11.12
基幹 (8)	細菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.01	0.75	0.50
	無菌性髄膜炎									0.05	0.38	0.90
	マイコプラズマ肺炎		1.00				1.00	0.25	0.63	0.26	7.50	6.95
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.01		0.30
	感染性胃腸炎 (ロ タウイルスに限る)									0.04	1.63	1.43
計 (ARIを除く)		11.33	17.96	26.43	4.25	8.50	6.34	17.27			428.92	
前 週 (ARIを除く)		8.00	12.96	25.15	1.50	11.75	9.33		16.12			

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咽痛、咽頭腫、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例
*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

疾病別・年齢別報告数

高知県感染症情報（48定点医療機関）			疾病別・年齢別報告数														2026年 28w									
定点 (定点数)	疾病名等	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上												
急性呼吸器感染症 (37)	急性呼吸器感染症 (ARI)*	1,334	172	514	274	122	29	23	27	21	21	31	43	57												
定点 (定点数)	疾病名等	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上				
急性呼吸器感染症 (37)	インフルエンザ	5											1				1	1	1			1				
	新型コロナウイルス感染症	69		1	1	2	3	2	1	4	2	3	3	29	3	1	8	1				2	3			
定点 (定点数)	疾病名等	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上										
小児科 (19)	咽頭結膜熱	5			4	1																				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18					1	1	2	3	3	3		5												
	感染性胃腸炎	38		3	6	4	7	4	6	1			1	4	1	1										
	水痘	1														1										
	手足口病	148	2	19	61	45	12	4	1				1	1	1	1										
	伝染性紅斑																									
	突発性発疹	7	1	2	3	1																				
	ヘルパンギーナ	58		7	24	20	7																			
	流行性耳下腺炎																									
	RSウイルス感染症	8	2		3	1	1	1																		
定点 (定点数)	疾病名等	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上					
眼科(3)	急性出血性結膜炎																									
	流行性角結膜炎																									
定点 (定点数)	疾病名等	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上								
基幹(8)	細菌性髄膜炎	1																	1							
	無菌性髄膜炎																									
	マイコプラズマ肺炎	2			1		1																			
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)																									
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)																									

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例
*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

疾病別年次報告数推移 2026年第28週 (急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点)

